第２回策定ワーキング　意見の概要（H30.12.21 開催）

資料１－①

策定ワーキングで提示された現状と課題の意見を、まとまりを持つものとして整理しました。

豊富な素材　→　認知度の低さ、マンネリ化、孤立化　→　資源をつなぐストーリーづくり

・スポーツ　ex.自転車でスポットをまわる、土地の平たさとマラソン記録
・食べ物　ex.茶を中心とした**食文化**、小まんじゅう（農作業にあいまに口にできる）
・健康ウォーキングと文化芸術など、**異なる分野の組み合わせ**
・風景・景観・色　　・農業・林業　　・伝承・遺跡
・2025 年大阪万博　　・福祉とアート　　・婦人参政権
・素材はいつも一緒（大井川、SL、茶、…）

人材育成　→　担い手や活動団体の減少、高齢化　→　リーダーの育成

・講座の充実が必要
・市民活動センターで、ファシリテーション研修を実施している
・**人と人とのつながり**の重要さ（ソーシャルキャピタル）

子どもたちとの関わり　→　学校教育の重要性　→　学校教育を介した育成・継承・普及

・子どもたちが文化・芸術にふれる機会づくり
・島田への愛を育てる教育
・学校へのコミュニティースクール（ディレクター）の導入
・若年層流出対策。他市からの 20～40 代の移住もある。

参加のハードルを下げる仕掛け　→　参加のハードル　→　多様な世代の参加と動機づけ

・**世代間交流**（高齢者と子どもなどの交流　ex.権三わらじづくり）
・子どもをからめると参加しやすい。親子一緒に参加する催し
・子育て世代への支援　ex.ペアレントサポーター託児サービス
・楽しいから、事業所が儲かるから…といった**参加への動機づけ**が必要

情報発信　→　情報伝達の壁　→　分野の統合

・地域資源、しまだ市民遺産など、もっと情報発信が必要
・団体の活動情報の発信は、各課それぞれで行っている　Ex. e じゃん島田（ブログ）、しまいく･･･

企業との関わり　→　狭く固定的な企業の関わり　→　多様で主体的な関わりの創出

・貢献が固定化していないか（祭りや花火への協賛だけではないはず）
・市民・企業の具体的な関わりを計画に示す

その他

・アンケートの自由意見は、地区・年齢・性別がわかるように整理してほしい。
・計画のねらい（アンケートの目的、前回会議のふりかえりなど）と、意義を整理したうえで計画づくりをしてほしい。